



日越友好40周年記念プロジェクト 「透析治療の技術支援と 看護教育支援プログラム」



ビジネスクリエーター研究学会 中間発表資料
「立教ベトナムプロジェクト」医療・介護グループ

2012/12/02

内容

- ①日越友好40周年記念プロジェクト 提案内容
ベトナムの国立病院・看護学校に対する
透析治療の技術支援・看護教育支援プログラム
- ②日本の透析患者の現状(参考)
- ③ベトナムの透析事情(概要)
- ④現地調査報告
- ⑤課題
- ⑥予定



ベトナム政府観光局日本支局設立準備委員会総会
(2012.4.24 立教大学 太刀川記念館)
日本支局準備委員長:立教大学経営学部・立教大学大学院
ビジネスデザイン研究科(RBS) 亀川雅人教授

HCMCとHanoiで6箇所の医療施設、患者さんの住む「村」を訪問



HCMCとHanoiで6箇所の医療施設、患者さんの住む「村」を訪問



提案内容－透析治療・看護教育に関する支援

(1)人工透析の技術支援

内容)日本の医療者・医療機器企業による 技術支援
研修場所)バクマイ病院等 国立病院／日本の医療施設

(2)看護教育支援セミナー

内容と対象者)

☆看護学生)感染症予防、衛生管理に関する教育支援

☆透析患者と家族)栄養管理相談、セミナーの実施

研修場所)国立バクマイ看護学校

想定される支援スタッフ

医師、看護師、臨床工学技士、医療機器企業staff

糖尿病療養指導士、管理栄養士、医療通訳 等

なぜ、透析治療と看護教育支援のプロジェクトなのか

透析治療は「命をつなぐ」もの

人工透析とは

慢性腎不全などで腎臓の機能が失われてしまった患者さんに行う治療法。
慢性腎不全になると、腎臓で尿をつくることができなくなり、尿毒素が体に溜まる。
この状態を放置すると死に至ってしまう。

そこで、患者さんの血液と透析液を人工腎臓という特殊なフィルターに通し、血液中の尿毒素を濾過する処置を行う。

透析治療：通常 1回あたり3時間半／週3回行う
透析治療における患者さんの体力の消耗、
水分、カリウム、タンパク質などの摂取制限もある。



なぜ、透析治療と看護教育支援のプロジェクトなのか

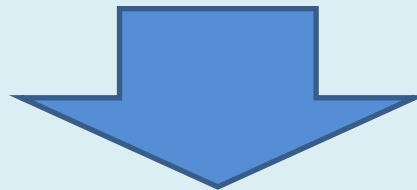
☆インフラの課題

☆医療者の不足

☆糖尿病性腎症の食事管理に関する知識、教育の不足

日本において、人工透析を新たに始める人は毎年約3万人
そのうち、約45%を糖尿病患者が占めている。

糖尿病が進行すると、失明（糖尿病網膜症）・透析・
壊疽による足の切断などの合併症の危険が高まる。



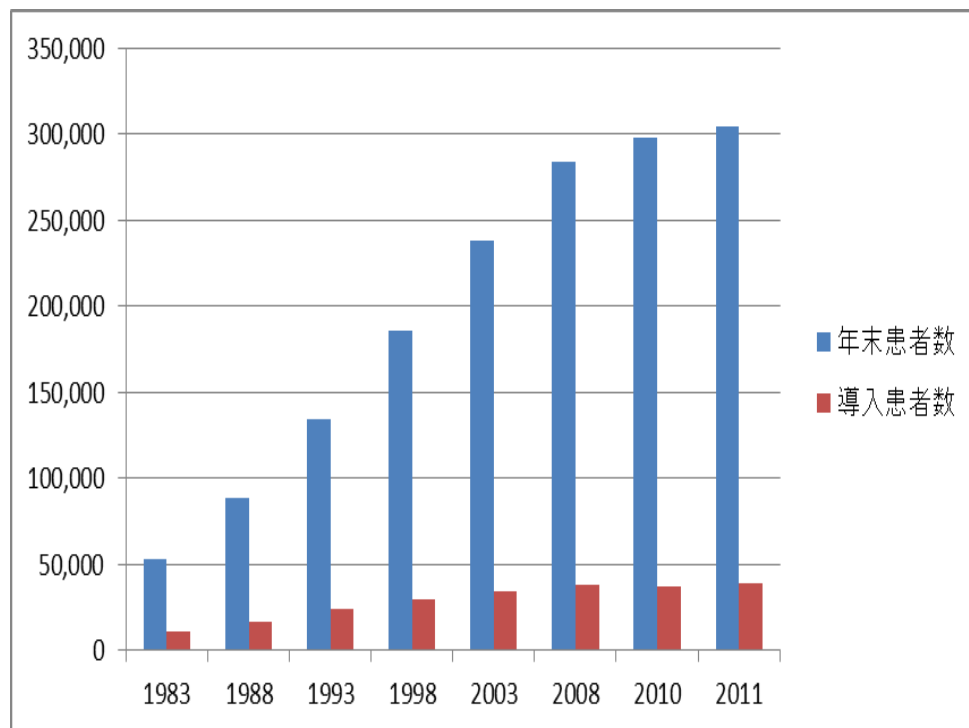
大切なこと

治療とともに、糖尿病性腎症などの予防にも貢献すること

日本の透析患者の現状(参考)－患者数推移

単位 人

	1983	1988	1993	1998	2003	2008	2010	2011
年末患者数	53,017	88,534	134,298	185,322	237,710	283,421	298,252	304,592
導入患者数	11,348	16,470	23,874	29,641	33,966	38,180	37,512	38,893



わが国の透析患者数は304千人
(2011年末現在)

新たに患者となる方は、**4万人**近く
なっている。

(但し、死亡者も**3万人**以上いる)

2011年12月31日現在(日本透析医学会 資料)

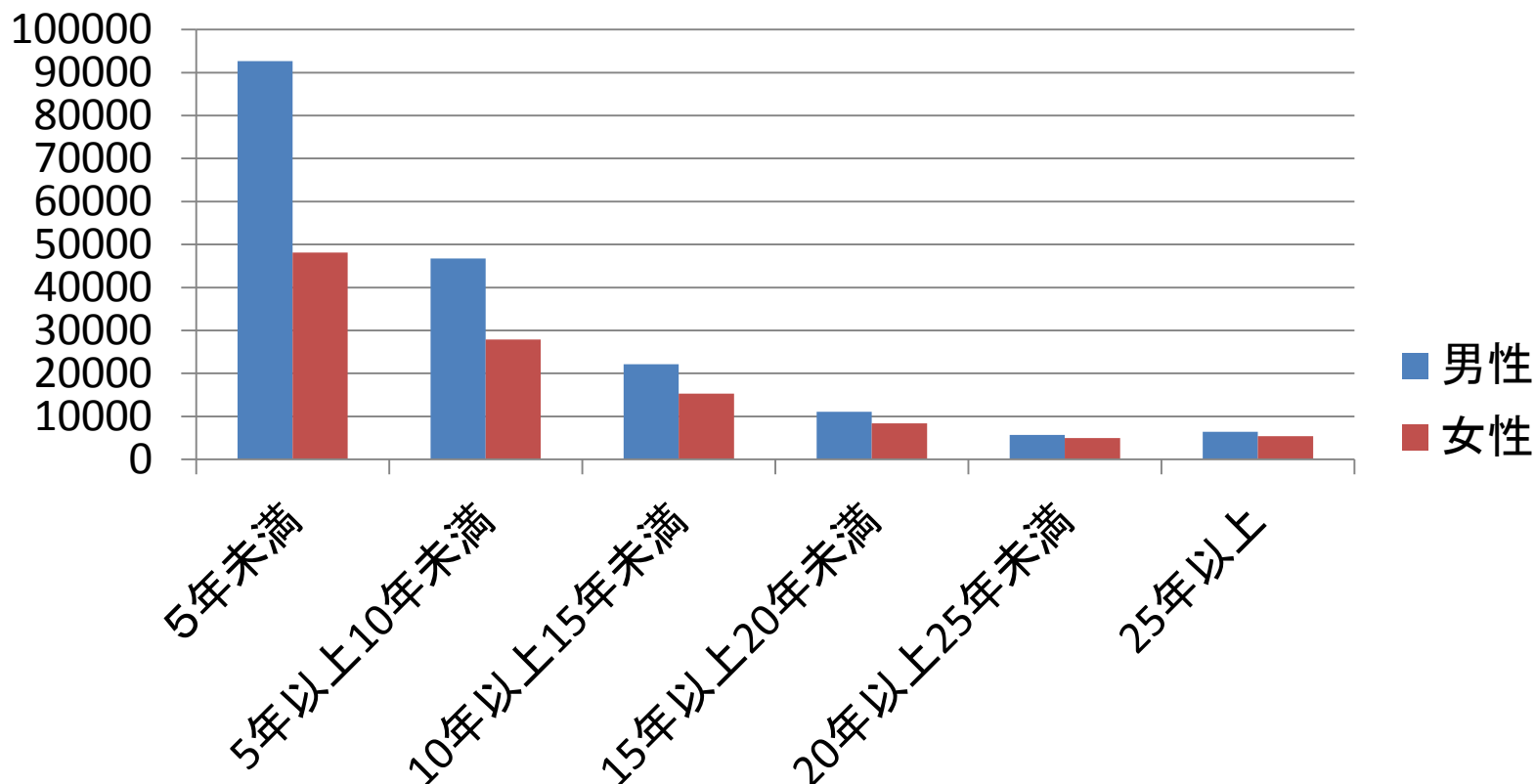
Rikkyo Vietnam

Project

日本の透析患者の現状(参考)

透析期間別および男女別の患者数

長期透析患者は年々増加。25年以上の長期透析患者は11,802人。



ベトナムの医療事情

ドイモイ政策※による市場経済を導入した1986年を境に疾病構造に変化がみられるようになる。それまでの全死亡者数の50%強を占めていた感染症疾患が2005年には20%を下回り、生活習慣の変化が原因と考えられる循環器系の疾患、糖尿病、悪性新生物などの非感染症疾患による死亡者数が62%を占めるように。

交通事故による死亡者数増加。
脳疾患や頭部外傷に起因する
身体障害者が増加。

国立CHORAY病院（ホーチミン市）
「医療リハビリテーション強化プロジェクト」
JICAチーフアドバイザー（理学療法士）
山本出さんとの面談）

※ドイモイ（刷新）政策—1986年の第6回
ベトナム共産党大会で掲げられたスローガン
経済や価格の自由化、海外からの資本受け入れなど



アジアの糖尿病患者数

ベトナムの糖尿病患者数(推計)164万人(20-79才)

Country	Age 20-79 (千人)	Age 20-79 糖尿病 患者数	Male (患者)	Female (患者)	Age 20-39	Age 40-59	Age 60-79
Japan	96,666	7089.2	3,648.1	3,441.1	373.8	2,358.3	4,357.1
Vietnam	56,662	1,646.6	797.2	849.4	199.7	739.9	707.0
Australia	15,128	1,085.8	569.9	515.9	86.3	390.5	609.0
China	964,302	43,157.2	22,262.3	20,894.8	6,095.9	23,736.8	13,324.4
Thailand	45,924	3,538.0	1,586.7	1,951.3	485.7	1,820.7	1,231.5

Data : WHO “Prevalence estimate of diabetes mellitus 2010”

ベトナムの透析事情(各種資料より)

人工透析の料金 50万ドン(約1880円 2012.9.1現在)

保険負担80% 本人負担20% (貧困層向け保険制度もあり)

(日本医療機器産業連合会 医療技術産業戦略コンソーシアム調べ 2011年9月)

医療インフラ・医療者の不足

ベトナムにおける糖尿病・腎臓病の治療
及び予防ネットワークは、拠点病院間で構築。
内分泌糖尿病センターのネットワークは
まだ弱く、内分泌疾患の入院病棟は
都市の大病院のみで利用可能。

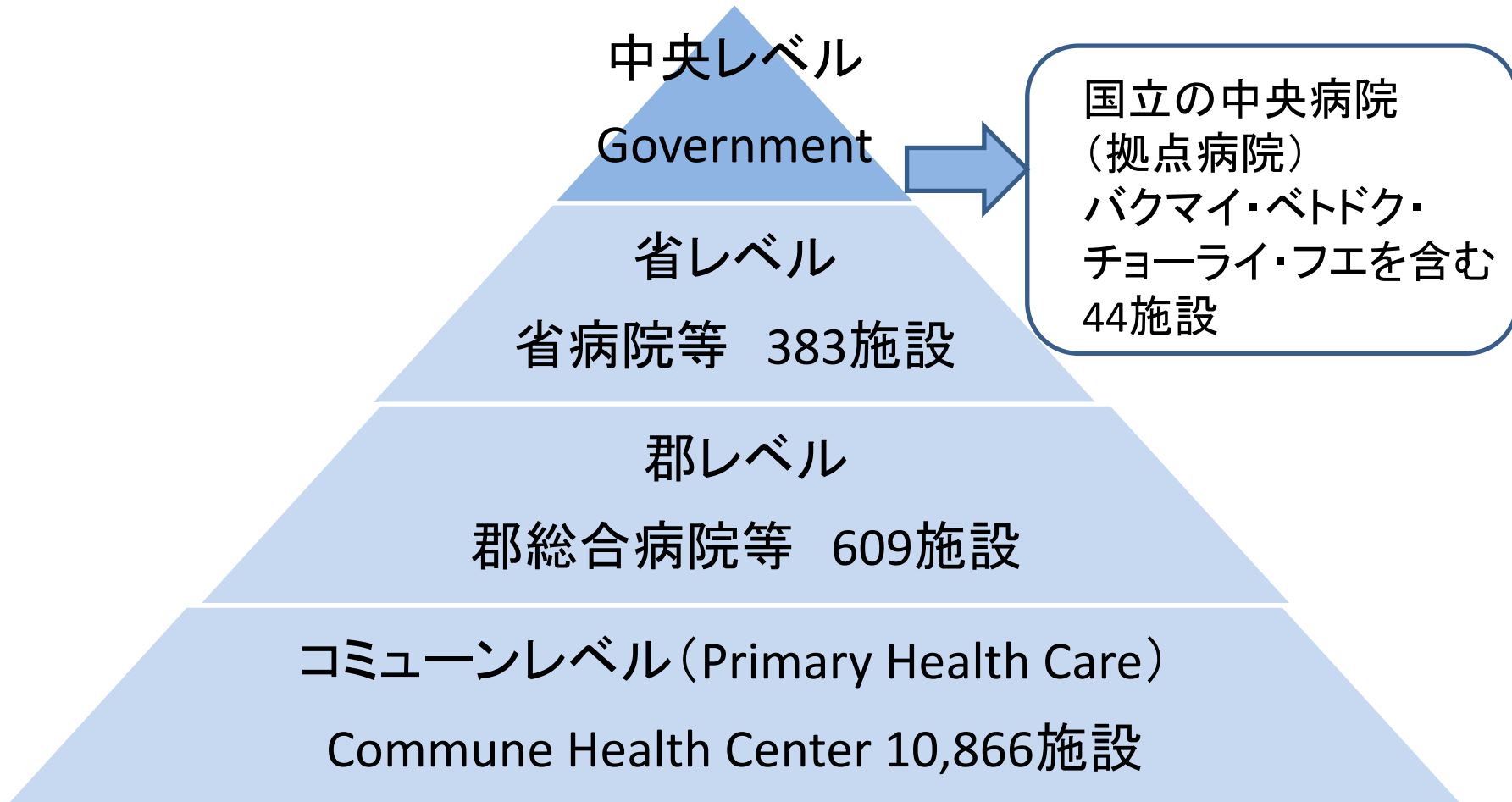


ベトナムの拠点病院の状況(2008年)

	バクマイ	ベトドク	チョーライ	フエ
病床数(計画)	1500	430	1400	1100
平均患者入院数	2848	743	2700	2008
満床率	177%	173%	193%	182%
総職員数	1879	1088	2857	2029
医師数	415	128	583	353
総手術件数	9500	27492	35645	18230
予定手術	4832	16063	21352	10928
緊急手術	4668	9182	13293	7302
救急症例/日	71	200	261	34

満床率が異常に高く、1つのベッドに複数の患者を収容することもあり、患者サービスの質の低下や、院内感染の危険を招いている。ただし病院は増床・増加傾向にある。

ベトナムの医療施設(概要)



出典: 国立国際医療センター「ベトナム国における保健医療の現状」2010 より

現地医療機関訪問・meeting



国立 BACH MAI 病院 (Hanoi) — ベトナム北部の拠点病院 日本 の ODA で新病棟 建設



BACH MAI MEDICAL SCHOOL(2年制)
1学年550名 (うち技術系 150名)



国立 BACH MAI 病院 (Hanoi) - 透析センター (24時間稼働 2交替制)



NIPRO製の透析機器 国立バクマイ病院でのシェア約40%（病院関係者談）



廊下で修理を待つ透析機器

稼働時間の目安)

日本 10,000時間

ベトナム 60,000時間





国立バクマイ病院にて 医療staffが部品交換、修理を行なっている



ダイアライザーは6回(もしくは80%の効果維持)まで再利用

透析治療に通う為に患者が住む集落



119名の透析患者が集団で生活をしている集落

29歳で腎臓病に罹っている。透析は週3回、
一部負担で全体の治療費は480,000ドン／月

透析治療に通う為に患者が住む集落



夫：大学卒業後、IT関連企業に就職。まもなく体調不良に。透析治療の合間に、体調の良い時にタクシーの運転手をしている。

透析治療に通う為に患者が住む集落



薬箱

1953年生まれ。20年間透析治療 歩くことが難しい。
塩・砂糖は気をつけていないが、果物を多く採らないようにしている。

課題

- ・透析機器の調達（新規・リユース）
- ・医療者の支援
- ・教育プログラム
- ・資金面のスキームづくり

- ・CSVの観点

CSR（企業の社会的責任）からCSVへ（2010）

CSV=“Creating Shared Value”（共益の創造）



Prof. Michael E. Porter
Harvard Business School

「本業による社会貢献と中長期的なビジネスの両立」

KEY TO SUCCESS



Hotel Nikko Saigon 「明宮」

「円卓発想」—組織関係者が目的に対して等しい心理的な距離にあり、
お互いに心と心を合わせて、一つのことを成し遂げる「場」

「信頼」「補完」「共創」

吉原敬典(目白大学経営学部教授・立教大学大学院ビジネスデザイン研究科講師)
「ホスピタリティ・リーダーシップ」

「人と人の想いをつなぐ 新たな国際交流と社会貢献を」



アジア学生文化協会小木曾理事長/ ドンズー日本語学校創立 HOE先生/タンロン大学創立 MUI先生



schedule

- (1)ベトナムプロジェクト勉強会(4月・6月・7月・9月実施)
- (2)10/31～11/6 Study Tour
現地医療機関訪問・meeting
(国内の医療者・栄養指導者
透析患者・透析機器メーカーへのインタビュー調査)
- (3)12/2「ビジネスクリエーター研究学会」での中間発表
- (4)関係者の方々との協議、プラン構築等
プログラムにおける透析技術・看護支援のチームづくり
- (5)2013年

日越友好40周年記念プロジェクト
透析治療技術支援・看護教育支援プログラム実施提案



2013年日越友好40周年記念プロジェクト 「透析治療の技術支援と看護教育支援プログラム」

「立教ベトナムプロジェクトー医療・介護 group」

☆石渡莊介 (Sosuke Ishiwatari) (RBS9期 修了生)

email: sosuke51@hotmail.co.jp

「財団法人アジア学生文化協会 (ABK)」友の会代表

<http://www.abk.or.jp/>

☆廣瀬園子 (Sonoko Hirose) (RBS9期 修了生)

email: hirose@medilegato.co.jp

株式会社 Medi Legato 代表取締役

<http://www.medilegato.co.jp/>